

製品名: リン酸化 IRS1 (Ser636) ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00788**

研究使用のみ

概要

| | |
|--------|---|
| 説明 | ウサギポリクローナル抗体 |
| 宿主 | うさぎ |
| 応用 | WB,IHC,ICC/IF,ELISA |
| 反応性 | ヒト、マウス、ラット |
| 標識 | 非共役 |
| 修飾 | リン酸化 |
| アイソタイプ | IgG |
| クローン性 | ポリクローナル |
| 形態 | 液体 |
| 濃度 | 1mg/ml |
| 保存 | アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。 |
| 輸送 | 氷袋 |
| バッファー | 50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。 |
| 精製 | アフィニティー精製 |

応用

| | |
|------|---|
| 希釈倍率 | WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000 |
| 分子量 | Calculated MW: 132 kDa; Observed MW: 150 kDa |

抗原情報

| | |
|--------------|---|
| 遺伝子名 | IRS1 |
| 別名 | IRS1; Insulin receptor substrate 1; IRS-1 |
| 遺伝子 ID | 3667 |
| SwissProt ID | P35568 |
| 免疫原 | 抗血清は、ヒト IRS-1 の Ser636 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 603-652 |

背景

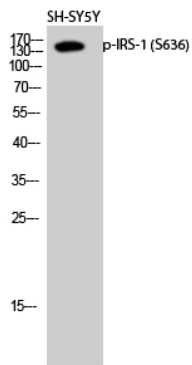
インスリンによる様々な細胞プロセスの制御を媒介する可能性がある。インスリン受容体によってリン酸化されると、ホスファチジ

ルイノシトール 3-キナーゼ p85 サブユニットや GRB2 などの SH2 ドメインを含む様々な細胞タンパク質に特異的に結合し、制御性 p85 サブユニットに結合するとホスファチジルイノシトール 3-キナーゼを活性化する。

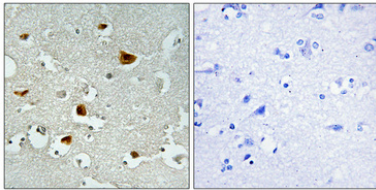
研究分野

タグとセルマーカー

画像データ



Phospho-IRS1 (S636) 抗体を使用した SH-SY5Y 溶解物中の Phospho-IRS1 (Ser636) のウエスタン ブロット分析。



リン酸化 IRS1 (Ser636) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗原賦活化には、高圧高温 Tris-EDTA pH 8.0 を使用しました。右側はブロッキングペプチドを添加したサンプルです。